

「いわてスタンダード」と「Gアップシート」について

「いわてスタンダード」は、学習指導要領の指導事項と、国立教育政策研究所「評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 第2編」の評価規準の設定例をもとに、単元で身に付けさせるべき力を明確化・焦点化して、「岩手の中学生に身に付けさせたい力」として示したものです。

「Gアップシート」では、「いわてスタンダード」の「岩手の中学生に身に付けさせたい力」が身に付いているかどうかを、どのような設問によって評価すればよいのかの具体的な提案をしています。

第1章 国語

第1 教科目標，評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し，伝え合う力を高めるとともに，思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし，国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

評価の観点	評価の趣旨
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに，国語に対する認識を深め，国語を尊重しようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ，適切に話したり聞いたり話し合ったりして，自分の考えを豊かにしている。
書く能力	相手や目的，意図に応じ，筋道を立てて文章を書いて，自分の考えを豊かにしている。
読む能力	目的や意図に応じ，様々な文章を読んだり読書に親しんだりして，自分の考えを豊かにしている。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり，言葉の特徴やきまり，漢字などについて理解し使ったりするとともに，文字を正しく整えて速く書いている。

3 内容のまとめ

国語科においては，学習指導要領の内容の「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を内容のまとめとした。

第2 内容のまとめごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

I 第1学年

1 学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ，日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力，話し手の意図を考えながら聞く能力，話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに，話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ，日常生活にかかわることなどについて，構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに，進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ，様々な本や文章などを読み，内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに，読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 第1学年の評価の観点の趣旨

評価の観点	評価の趣旨
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えをまとめ、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて話し合ったりしている。
書く能力	目的や意図に応じ、構成を考え、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして文章に書いている。
読む能力	目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえて、自分のものの見方や考え方を広くしている。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を楷書で書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。

3 学習指導要領の内容、内容のまとまりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

(1) 「A 話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。
 - イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。
 - ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。
 - エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。
 - オ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。
- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 日常生活の中の話題について報告や紹介をしたり、それらを聞いて質問や助言をしたりすること。
- イ 日常生活の中の話題について対話や討論などを行うこと。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて話し合ったりしようとしている。
話す・聞く能力	・日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理している。(ア) ・全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話している。(イ) ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話している。(ウ) ・必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。(エ) ・話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	・音声の働きや仕組みについて関心をもち、理解を深めている。(イ(ア)) ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話したり聞いたりしている。(イ(イ)) ・話したり聞いたりして、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話の中の語彙に関心をもっている。(イ(ウ)) ・単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して話したり聞いたりしている。(イ(エ)) ・比喩や反復などの表現の技法について理解して、話したり聞いたりしている。(イ(オ))

『A 話すこと・聞くこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、問題番号）

言語活動例		ア 日常生活の話題について報告する言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）		
[国語への関心・意欲・態度]					
	・伝えたいことが相手によく分かるように、工夫して報告しようとしている。	<1>何についてどのように報告すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して報告しようとしている <3>目的に沿って工夫して報告できたかを振り返る	●事前のワークシート ●報告場面（教師による観察） ●事後のワークシート		
[話す・聞く能力]					
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。	・身近な人への取材を通して体験や知識などの材料を集め、報告の目的を考えて整理している。（ア）	<1>目的に応じて話題・取材する相手を選ぶ <2>身近な人への取材を通して体験や知識などの材料を集める <3>集めた材料を報告の目的を考えて整理する	【話聞1-問一】【話聞2-問一】 【話聞1-問二】【話聞2-問二】 【話聞1-問三】【話聞2-問三】	
話 す こ と	イ 全体と部分、事実と意見の関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。	・伝えたいことを分かりやすく報告するために、話をどのように組み立てるかを考えている。（イ） ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して報告している。（ウ）	<1>伝えたいことを分かりやすく報告するために、話の組み立てを工夫する <2>話す速度、音量、言葉の調子、間の取り方に注意して話す <3>相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して報告する	【話聞2-問四】 【話聞2-問五】 【話聞1-問四】【話聞2-問六】	
聞 こ く と	エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。	・報告を聞いて質問し、相手が言いたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりしている。（エ）	<1>報告を聞いて質問し、相手が言いたいことを確かめる <2>報告を聞いて質問し、足りない情報を聞き出す	【話聞2-問八】 【話聞1-問六】※【話聞2-問八】	
話 う し こ 合 と	オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。	・報告の内容について話し合い、自分の考えをまとめている。（オ）	<1>報告の内容について話し合い、自分の考えをまとめる	【話聞2-問九】【話聞2-問十】	
言語についての知識・理解・技能					
イ 言葉の特徴や決まりに関する事項	・音声の働きや仕組みについて注意し、目的や場面に応じて適切な音量や抑揚などで話している。（イ(ア)） ・報告したい内容を適切に伝えるために、語句を選んでいる。（イ(イ)） ・分かりやすい報告をするために、指示語や接続詞などを適切に使っている。（イ(エ)） ・必要に応じて反復などの表現を用いて重要な点を強調し、報告している。（イ(オ)）	<1>音声の働きや仕組みについて注意し、目的や場面に応じて適切な音量で話す <2>音声の働きや仕組みについて注意し、目的や場面に応じて適切な抑揚で話す <3>報告したい内容を適切に伝えるために、語句を選ぶ <4>分かりやすい報告をするために、指示語や接続詞を適切に使う <5>重要な点を強調して報告するために、必要に応じて反復などの表現を用いる	●報告場面（自己評価・相互評価） ●報告場面（自己評価・相互評価） 【話聞1-問五】 【話聞2-問七】 【言語】		

言語活動例		イ 日常生活の話題について討論する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・互いの考えの共通点や相違点を整理し、建設的に話し合おうとしている。	<1>何についてどのように話し合えばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って建設的に話し合おうとしている <3>目的に沿って建設的に話し合えたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●報告場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[話す・聞く能力]				
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を人との交流を通して集め整理すること。	・地域の人への取材を通して体験や知識などの材料を集め、自分の考えや意見を明確にしている（ア） <1>目的に応じて取材方法を選ぶ <2>地域の人への取材を通して材料を集める <3>材料をもとに、自分の考えや意見を明確にする	【話聞4-問一】 【話聞4-問二】 【話聞4-問三】 【話聞3-問一】	
話 す こ と	イ 全体と部分、事実と意見の関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。 ウ 話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いなどについての知識を生かして話すこと。	・意見を述べる上で、事実や意見をどのように配列すると分かりやすいかを考えて話を構成し、文末表現などに注意するとともに根拠を明確にして話している（イ） ・聞き手の受け止め方や理解の状況に注意して話している。（イ） ・話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方、相手に分かりやすい語句の選択、相手や場に応じた言葉遣いに注意して話している（ウ） <1>事実や意見をどのように配列すると分かりやすいかを考えて話を構成する <2>文末表現に注意して意見を話す <3>根拠を明確にして意見を話す <4>聞き手のうなずき、表情に注意して話す <5>話す速度、音量、言葉の調子、間の取り方に注意して話す <6>相手に分かりやすい語句の選択に注意して話す <7>相手や場に応じた言葉遣いに注意して話す	【話聞3-問二】 【話聞4-問五】 【話聞3-問三】 【話聞4-問七】 【話聞4-問四】 ●発言場面（自己評価） 【話聞4-問八】 【話聞4-問九】 【話聞4-問十】	
聞 こ く と	エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。	・相手の考えを聞いて、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。 <1>相手の考えを聞いて、自分の考えとの共通点や相違点を整理する	【話聞3-問六】 【話聞4-問十一】	
話 う し こ 合 と	オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。	・話し合いの話題や方向をとらえ、自分の考えと比較しながら相手の話を聞き、自分の考えをまとめている。 <1>話し合いの話題や方向をとらえる <2>自分の考えと比較しながら話を聞く <3>話し合いを生かして自分の考えをまとめる	【話聞3-問五】 ●話し合い時のメモ 【話聞3-問七】 【話聞4-問十二】	
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴や決まりに関する事項	・相手の話の中に出てくる、事象や行為などを表す多様な語句について関心を持ち、意味を確かめながら聞いている。（イ(ウ)） ・指示語や接続詞などを適切に使い、自分の考えを分かりやすく話している。（イ(エ)） <1>事象や行為などを表す多様な語句について関心を持ち、意味を確かめながら聞く <2>自分の考えを分かりやすく話すために、指示語や接続詞を適切に使う	●討論場面（教師による観察） 【話聞3-問四】 【話聞4-問六】 【言語】		

(2) 「B 書くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。
- イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。
- ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。
- エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。
- オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 関心のある芸術的な作品などについて、鑑賞したことを文章に書くこと。
- イ 図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。
- ウ 行事等の案内や報告をする文章を書くこと。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	・ 目的や意図に応じ、構成を考え、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして文章に書こうとしている。
書く能力	・ 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめている。(ア) ・ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成している。(イ) ・ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いている。(ウ) ・ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ) ・ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。(オ)
言語についての知識・理解・技能	・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して書いている。(イ(イ)) ・ 技能・文章を書いて、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について関心を持っている。(イ(ウ)) ・ 単語の種類について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きを持つ語句などに注して書いている。(イ(エ)) ・ 比喩や反復などの表現の技法について理解して書いている。(イ(ハ)) ・ 小学校学年別漢字配当表のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(ウ(イ)) [書写] ・ 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書いている。(ア) ・ 漢字の行書の基本的な書き方を理解して書いている。(イ)

『B 書くこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、問題番号）

言語活動例		ア 関心のある芸術作品について、鑑賞したことを文章に書く言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]					
		・関心のある芸術作品について、自分の印象や感動を分かりやすく文章に書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って分かりやすく書こうとしている <3>目的に沿って分かりやすく書けたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]					
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・これまでに親しんだ芸術作品の中から対象を決め、様々な角度からそのよさについて考えている（ア）	<1>これまでに親しんだ芸術作品の中から鑑賞したことを書く対象を決める <2>様々な角度から作品のよさについて考える	●対象を選択する場面 （教師による観察） 【書く1-問一】【書く2-問一】	
構 成	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	・作品のよさを挙げて要素ごとに整理し、段落の役割を考えて文章を構成している。（イ）	<1>作品のよさを挙げて要素ごとに整理する <2>段落の役割を考えて文章を構成する	【書く1-問二】 【書く1-問三】【書く2-問二】	
記 述	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	・作品のよさについて、表現の仕方、作り手の思いや見方、受けた印象や感動などを明確にして書いている。（ウ）	<1>作品のよさについて、表現の仕方を明確にして書く <2>作品のよさについて、作り手の思いや見方を明確にして書く <3>作品のよさについて、受けた印象や感動を明確にして書く	【書く1-問五】 【書く2-問三】 ※【書く1-問五】	
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・自分の考えた作品のよさやその根拠が相手に伝わるかどうかを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にしている。（エ）	<1>推敲して、自分の考えた作品のよさやその根拠が伝わりやすい文章にする	【書く1-問六】	
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。	・書いた文章を互いに読み合い、作品のとらえ方や根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。（オ）	<1>作品のとらえ方や根拠の明確さなどについて意見を述べる <2>読み合って学んだことを、自分の表現の参考にする	【書く1-問七】【書く2-問五】 ●記述場面（ワークシート）	
言語についての知識・理解・技能					
イ	言葉の特徴やきまりに関する事項	・作品のよさを表す語句を集め、文脈に応じて使い分けている。（イ(ウ)） ・作品のよさを書き表すのに、比喻や反復などの表現の技法を、必要に応じて適切に用いている。（イ(オ)）	<1>多様な語句を文脈に応じて使い分ける <2>比喻や反復などの表現の技法を適切に用いる	【書く1-問四】【書く2-問四】 【言語】	

言語活動例		イ 図表を用いた説明の文章を書く言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・図表を用いた説明の効果などを考え、分かりやすい文章を書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って分かりやすく書こうとしている <3>目的に沿って分かりやすく書けたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]				
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・日常生活の経験等の中から、図表を用いて説明するのにふさわしい事柄を見付け、その内容を簡単にまとめている。（ア）	<1>日常生活の経験等の中から、図表を用いて説明するのにふさわしい事柄を見つける <2>図表を用いて説明するのにふさわしい事柄の内容を、簡単にまとめる	【書く4-問一】 【書く3-問一】【書く4-問二】
構 成	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	・図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てている。（イ）	<1>図表を示して説明する部分を意識しながら、段落を組み立てる	【書く3-問二】【書く3-問三】 【書く4-問三】
記 述	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	・説明の必要な理由や目的、説明するものの概要を明確にして書いている。（ウ）	<1>説明の必要な理由や目的を明確にして書く <2>説明するものの概要を明確にして書く	【書く3-問四】 【書く4-問四】
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・説明と図表とが対応しているか、図表が説明の助けとなっているかを確かめ、読みやすく分かりやすい文章にしている。（エ）	<1>説明と図表とが対応しているか、図表が説明の助けとなっているかを確かめ、読みやすく分かりやすい文章にする	【書く3-問五】
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。	・書いた文章を互いに読み合い、図表の効果や説明の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。（オ）	<1>図表の効果や説明の分かりやすさについて意見を述べる <2>交流した意見を自分の表現の参考にする	【書く3-問六】【書く4-問五】 【書く4-問六】
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やき まりに関する事項	・図表を説明するときに指示語や接続詞を工夫して使っている。（イ(エ)）		<1>図表を説明する時に指示語や接続詞を工夫して使う	【言語】
ウ 漢字に関する事項	・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。（ウ(イ)） [書写] ・メモをとる際に、漢字の行書の基礎的な書き方を生かしている。（イ）		<2>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書く <3>メモをとる際に、漢字の行書の基礎的な書き方を生かす	【言語】 【言語】

言語活動例		ウ 行事等の案内をする文章を書く言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・行事等の案内をする文章の形式や役割を意識して、簡潔に文章を書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って簡潔に書こうとしている <3>目的に沿って簡潔に書けたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●記述場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]				
話 や 題 取 設 材 定	ア 日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・日常生活の中から案内をするのにふさわしい行事等を決め、案内すべき内容を簡単にまとめている。（ア）	<1>日常生活の中から案内をするのにふさわしい行事を決める <2>行事について、案内すべき内容を簡単にまとめる	【書く5-問一】 【書く5-問二】【書く6-問一】
構 成	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	・相手に案内すべき内容を、相手を誘う言葉と行事等の概要とに分けている。（イ）	<1>案内すべき内容を、誘う言葉と行事の概要とに分ける	【書く5-問三】【書く6-問二】
記 述	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	・行事等を案内する相手や目的、行事等の概要を明確にして書いている。（ウ）	<1>案内する相手や目的、行事の概要を明確にして書く	【書く6-問三】
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・相手が来たくなるか、また相手に行事等の概要が伝わるかどうかを確かめ、読みやすく分かりやすい文章にしている。（エ）	<1>相手が来たくなるかに注意して推敲する <2>相手に行事の概要が伝わるかどうか確かめて推敲する	【書く5-問四】 【書く5-問五】
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の使い方、根拠の明確さなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりすること。	・書いた文章を互いに読み合い、相手を誘う言葉の効果、行事等の概要の分かりやすさなどについて意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりしている。（オ）	<1>相手を誘う言葉の効果について意見を述べる <2>行事の概要の分かりやすさについて意見を述べる <3>交流した意見を自分の表現の参考にする	【書く5-問六】 ※【書く5-問六】 【書く6-問五】
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・案内をする文章に特有の語句や慣用的な表現について、辞書でその意味を調べて使っている。（イ(イ)） [書写] ・件名と本文との字の大きさを変えるなど、漢字、仮名、数字のバランスを考えて読みやすく整った楷書で書いている。（ア）	<1>案内をする文章に特有の語句について、辞書でその意味を調べて使う <2>案内をする文章に特有の慣用的な表現について、辞書でその意味を調べて使う <3>漢字、仮名、数字のバランスを考えて整った楷書で書く	【言語】	
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項			【言語】	
			【書く6-問四】	

(3) 「C 読むこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 読むことの能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。
- イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。
- ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。
- エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。
- オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。
- カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。
 - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。

(2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。

- ア 様々な種類の文章を音読したり朗読したりすること。
- イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。
- ウ 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介すること。

【「C 読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえて、自分のものの見方や考え方を広くしようとしている。
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。(ア) ・ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりしている。(イ) ・ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てている。(ウ) ・ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもっている。(エ) ・ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くしている。(オ) ・ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取っている。(カ)
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。(ア(ア)) ・ 古典には様々な種類の作品があることを知っている。(ア(イ)) ・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して読んでいる。(イ(イ)) ・ 文章を読んで、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、文章の中の語彙について関心をもっている。(イ(ウ)) ・ 単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して読んでいる。(イ(エ)) ・ 比喩や反復などの表現の技法について理解して読んでいる。(イ(オ)) ・ 小学校学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読んでいる。(ウ(ア))

『C 読むこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、問題番号）

言語活動例		アー1 様々な文章を音読したり朗読したりする言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	岩手の中学生に身に付けさせたい力		④シート番号 （●：授業中の活動）
[国語への関心・意欲・態度]				
	・音読や朗読をする文章の内容や表現に関心を持ち、工夫して読もうとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して読もうとしている <3>目的に沿って工夫して読めたかどうかを振り返る		●事前のワークシート ●朗読場面（教師による観察） ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。	・語句の意味を理解し想像力を働かせて文章を読み、朗読するとき注意する語句を選んでいる。（ア）	<1>語句の意味を理解し想像力を働かせて文章を読む <2>朗読するとき注意する語句を選ぶ	【読む1-問一】 ●読解場面（ワークシート）
文章の解釈	イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	・文章を朗読するために、登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、内容の理解を深めている。（ウ）	<1>朗読するために、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容の理解を深める <2>朗読するために、情景描写に注意して読み、内容の理解を深める	【読む1-問二】 【読む1-問三】【読む2-問一】
自分の形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。	・文章の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。（エ） ・書き手のものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げて朗読の仕方を考えている。（オ）	<1>朗読するために、文章の表現の特徴や効果をとらえる <2>朗読するために、書き手のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えを広げる	【読む1-問四】【読む1-問五】 【読む2-問二】 【読む2-問三】
情報書活用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。			
[言語についての知識・理解・技能]				
言葉の特徴やきまりに関する事項	・語句の文脈上の意味をとらえ、それが文章の中で果たしている役割を考えながら読んでいる。（イ(イ)） ・多様な語句について理解し、朗読するときどのように読んだらよいかを考えている。（イ(ウ)） ・表現技法の効果を理解し、朗読に役立てている。（イ(オ)）	<1>語句の文脈上の意味をとらえ、文章の中で果たしている役割を考える <2>多様な語句について理解する <3>表現技法の効果を理解する	※【読む1-問一】 ※【読む1-問一】 【言語】	

言語活動例		アー2 古文や漢文を音読したり朗読したりする言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・音読や朗読をする古文や漢文の内容や表現に関心をもち、工夫して読もうとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して読もうとしている <3>目的に沿って工夫して読めたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●朗読場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。			
文章の解釈	イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。	・古文や漢文を朗読するために、登場人物の心情や行動、情景描写に注意して読み、内容の理解を深めている。（ウ）	<1>朗読するために、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容の理解を深める <2>朗読するために、情景描写に注意して読み、内容の理解を深める	【読む3-問一】【読む4-問一】
	ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。			【読む3-問二】
自分の形の考え	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。	・古文や漢文の表現の特徴や効果をとらえ、朗読の仕方を考えている。（エ）	<1>朗読の仕方を考えるために、古文や漢文の表現の特徴や効果をとらえる	【読む3-問四】【読む4-問三】
	オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。			
情報書活用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。			
[言語についての知識・理解・技能]				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れている。（ア(ア)）	<1>音読するために、文語のきまりや訓読の仕方を知る <2>古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れる	【読む3-問三】【読む4-問二】 ●朗読場面（自己評価）	

言語活動例		イ 文章と図表との関係を考えながら説明の文章を読む言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・文章と図表との関連をとらえながら、説明の文章を読もうとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読めたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●朗読場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。	・説明の文章を読み、文脈に即して語句の意味を的確にとらえ、キーワードを考えている。(ア) <1>文脈に即して語句の意味を的確にとらえる <2>キーワードを考える	【読む5-問一】【読む6-問一】 ●読み取り場面（ワークシート）	
文章の解釈	イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。 ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	・説明されている事実と図表との関係を整理し、文章の要旨をとらえている。(イ) <1>説明されている事実と図表との関係を整理する <2>文章の要旨をとらえる	【読む5-問二】【読む6-問二】 【読む5-問三】【読む6-問三】	
考自の形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。	・説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもっている。(エ) ・説明されている内容についての書き手のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもっている。(オ) <1>説明の文章を展開する上で図表が果たしている役割をとらえ、その効果について自分の考えをもつ <2>書き手のものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをもつ	※【読む5-問二】※【読む6-問二】 ※【読む5-問三】※【読む6-問三】 【読む5-問四】【読む6-問四】	
情読書活用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。	・関連する説明の文章を読み、文章と図表から必要な情報を得ている。(カ) <1>関連する説明の文章を探して読む <2>文章と図表から必要な情報を得る	【読む6-問五】 ●読書場面（レポート）	
[言語についての知識・理解・技能]				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。(イ(イ)) ・説明の文章を読んで自分の考えを書いたり述べたりする際に、より適切な語句を選んでいる。(イ(ウ)) ・説明の文章を読む上で大切な指示語に注意している。(イ(エ)) ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(ア))	<1>語句の意味を辞書で調べる <2>語句の文脈上の意味を考える <3>より適切な語句を選んで意見を表す <4>指示語に注意して読む <5>漢字を正しく読む	●読み取り場面（観察） ※【読む6-問一】 ●意見の記述場面（ワークシート） 【言語】 【言語】	

言語活動例		ウー1 課題に沿って本を読み、必要に応じて引用して紹介する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]				
		・課題に沿って本を選び、その内容を進んで紹介しようとしている。	<1>何についてどのように紹介すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って紹介しようとしている <3>目的に沿って紹介できたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●朗読場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。	・本を紹介するために、文脈に即して語句の意味を的確にとらえている。(ア)	<1>本を紹介するために、文脈に即して語句の意味を的確にとらえる	【読む7-問一】【読む8-問一】
文章の解釈	イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。	・本の紹介の仕方に応じて、文章を要約している。(イ)	<1>紹介の仕方に応じて文章を要約する	【読む7-問二】【読む8-問二】
	ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	・場面の展開や登場人物などの描写に注意して文章を読み、紹介したい部分を決めている。(ウ)	<2>紹介したい部分を定めるために、場面の展開に注意して読む <3>紹介したい部分を定めるために、登場人物の描写に注意して読む	【読む7-問三】【読む8-問三】 【読む7-問五】【読む8-問四】
考自の形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。	・文章の構成や展開、表現の特徴などを分析的にとらえ、自分の考えをもって、本を紹介している。(エ)	<1>紹介するために、文章の構成や展開を分析的にとらえ、自分の考えを持つ <2>紹介するために、表現の特徴を分析的にとらえ、自分の考えを持つ	【読む7-問四】※【読む8-問三】 【読む7-問六】【読む8-問五】
	オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。	・選んだ本の文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを広げ、本を紹介している。(オ)	<3>紹介するために、文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりして自分の考えを広げる	【読む7-問七】【読む8-問六】
情読書活用	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。	・表題や目次などを参考にして課題に沿った本を選び、必要な情報を読み取っている。(カ)	<1>表題や目次から課題に沿った本を選ぶ <2>必要な情報を読み取る	【読む7-問八】【読む8-問七】 ●読書場面 (レポート)
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	ウ 漢字に関する事項	・文章を読んで意味の分からない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を考えている。(イ(1)) ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。(ウ(7))	<1>語句の意味を辞書で調べ、文脈上の意味を考える	●読み取り場面 (観察) ※【読む7-問一】※【読む8-問一】 【言語】
			<2>文脈上の意味を考える <3>漢字を正しく読む	

言語活動例		ウー2 古典の文章を読み紹介する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③ 岩手の中学生に身に付けさせたい力	④ シート番号 (●: 授業中の活動)
[国語への関心・意欲・態度]				
		・古典の文章に関心を持ち、その内容を進んで紹介しようとしている。	<1>何についてどのように紹介すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って紹介しようとしている <3>目的に沿って紹介できたかどうかを振り返る	●事前のワークシート ●朗読場面 (教師による観察) ●事後のワークシート
[読む能力]				
味語の句の理解の意	ア 文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解すること。	・古典の文章を紹介するために、文脈に即して語句の意味をとらえている。(ア)	<1>紹介するために、文脈に即して語句の意味をとらえる	【読む9-問一】
文章の解釈	イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実や意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。	・紹介の仕方に応じて、文章を要約している。(イ)	<1>紹介の仕方に応じて、文章を要約する	【読む9-問四】
	ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。	・場面の展開や登場人物などの描写に注意して古典の文章を読み、紹介している。(ウ)	<2>紹介するために、場面の展開に注意して読む <3>紹介するために、登場人物の描写に注意して読む	【読む9-問三】※【読む9-問五】 【読む9-問二】※【読む9-問五】
考自のの形成	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。			
情読書活用の	カ 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。			
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・古典には様々な種類の文章があることを理解している。(ア(イ))		<1>古典には様々な種類の文章があることを理解する	●事後のワークシート